

令和3年度 生命地域妙高環境会議事業報告について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありましたが、環境保全活動は継続性が重要であることから、内容を精査し感染症対策を施し事業を実施しました。

1. 生物多様性保全活動の推進

○いもり池のスイレン駆除活動の実施

- ・第1回 6月12日～13日 2日間 地元地区との協働（計53名）
水面藻刈船によるスイレンの刈取り
防草シートの連結作業及び湖底敷設のための土嚢作成
- ・第2回 6月22日～23日 2日間 地元地区との協働（計34名）
防草シートの湖底敷設作業（防草シート1,600㎡）
- ・第3回 10月3日～4日 2日間 地元地区との協働（計40名）
手漕ぎボートによるスイレン刈取り

○笹ヶ峰高原におけるオオハンゴンソウの除去

- ・8月20日（計60名）

2. プロジェクトの推進

○火打山自然再生プロジェクト

- ・クラウドファンディング充当事業

「頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査事業」

内 容：①繁殖期及び非繁殖期におけるライチョウ個体数調査

②哺乳類相調査

③雪上レクリエーション活動エリアでのライチョウ生息状況調査

○奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト

- ・ふる里の川普請（渋江川クリーン作戦）

8月7日中止（市内における新型コロナウイルス感染症拡大による）

《関連事業》

- ・登山道整備（観光商工課）
- ・いもり池周辺におけるヨシの除去作業（観光商工課）
- ・里山の整備活動（妙高里山保全クラブ等）
- ・ニホンジカ行動把握調査（森林管理署）
- ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲技術講習会（新潟県、環境生活課）
- ・自然体験プログラムの開催
（いもり池観光案内所、国立妙高青少年自然の家、妙高高原ビジターセンター）
- ・あまとみトレイルの開通（妙高戸隠連山国立公園連絡協議会）

3. 情報発信機能の充実

○火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム「火打山ナビ」の運用

○生命地域妙高環境会議ホームページによる情報発信

4. 環境サポーターズ制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等への協力
 - ・ R4.3 末現在 310 名が登録（令和 2 年度から 17 名の増）
いもり池スイレン除去活動、ライチョウ生息環境保全活動（イネ科植物除去）、オオハンゴンソウ除去活動への参加

5. 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に則った指定野生動植物の保護
 - ・ 希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板の設置
4 月 15 日から 10 月 31 日まで
 - ・ 希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動
通年
- 高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施
 - ・ 盗掘防止看板の設置 5 月 26 日から 10 月 24 日まで

6. いもり池周辺環境整備事業

- いもり池北側雑木伐採芝張工事
 - ・ いもり池北側芝生広場周辺の雑木を伐採し、芝を張ることによる広場の拡大。

7. ミズバショウ増殖事業

- ミズバショウ群落の再生事業
 - ・ ミズバショウの採種、育苗

8. 笹ヶ峰高原除草清掃活動

- 笹ヶ峰集団施設地区歩道草刈り及び清掃活動
 - ・ 遊歩道の草刈り、倒木処理及び清掃活動等
5 月 17 日から 10 月 30 日まで

9. エコツーリズムの推進

- 《関連事業》
 - ・ いもり池ガイドウォーク、きのこと観察会、バードウォッチング
(いもり池観光案内所)
 - ・ スノーシュー講座、妙高山・火打山登山案内、地図読み講座
(妙高高原ビジターセンター)
 - ・ チャレンジキャンプ 2021（国立妙高少年自然の家）

10. 自主財源確保に向けた取組

- 郵便振替、かざして募金、第一スーパー等からの寄付 80,946 円
- 妙高高原ビジターセンターに自然環境保全の募金箱設置
- 《関連事業》
 - ・ ライチョウ保護のためのクラウドファンディング（環境生活課）